

2 / 6 12歳教育の成果発表 今年度3回目の子ども防災サミット開催

小学校の集大成として防災を切り口に広く社会に目を向け、各種体験活動を通して防災に関する知識・技能、より確かな社会性を身に付けた将来の西条市を担う若者（リーダー）の育成を目的に今年度3回目の子ども防災サミットを開催しました。実践発表では、丹原小学校・玉津小学校の2校が今年の活動を報告。パネルディスカッションでも活発な討議が行われました。参加した1000人を超える小学生や関係者は、防災に対する強い思いをサミット宣言に込め、参加者全員で採択しました。



▲ 素晴らしい発表

1 / 25 祝愛媛駅伝選手権初制覇 西条市陸協



第59回愛媛駅伝競走・第5回駅伝選手権大会が開催され、男子では西条市陸協が大会新記録で初優勝しました。男子は、今治市と松山市を結ぶ7区間46.1kmで開催され、7区間の内5区間で区間1位。中でも7区の二宮選手は区間新記録でゴールテープを切りました。大森監督はレースを振り返り「勝たなければならない試合に勝ってほっとしている。これからは県内駅伝のけん引役として頑張っていきたい」と意欲を燃やしていました。

立志・自覚・健康について考えよう 市内の各中学校で少年式

市内の中学校で2月3・4日に、中学2年生（14歳）をお祝いし、立志・自覚・健康について考える「少年式」が行われました。河北中学校でも4日少年式が行われ、生徒の皆さんは緊張した顔で、人生の新たな節目を迎えていました。また、午後からは、ビーチバレーで大活躍の佐伯美香選手の講演や実技指導もあり、佐伯選手の経験談などから一人ひとりが人生について考えた一日となりました。



▲ 緊張感の漂う少年式



▲ 佐伯選手の講演

1 / 27 サッカー元日本代表小倉隆史氏が 子どもたちを熱心に技術指導



文部科学省・財団法人日本体育協会「子どもの体力向上キャンペーン」の一環としてトップアスリートを講師に招き、豊かな経験と卓越した技術をもとに子どもたちを指導していただくサッカー教室が、元日本代表フォワード小倉隆史氏（写真円内）を講師に氷見小学校で開催されました。

小倉氏の熱血指導に子どもたちも一生懸命に体を動かし、スポーツの楽しさを実感していました。

2 / 13 西条や四国地域の感性を語る 四国経済産業局がアサヒビールでカフェ開催



▲ 会場の様子

経済産業省が今年度からの3年間を「感性価値創造イヤー」と位置づけ、地域ならではの感性でものづくりを考える「KANSEIカフェ」をアサヒビール四国工場で開催しました。

四国で初めて開催されたこのカフェでは、古田士（こだと）アサヒビール㈱四国統括本部長と野菜ソムリエの杉森さんが、四国や西条ならではの感性について話し、参加された企業の方々も消費者の意識や感性への働きかけの重要性を再認識していました。



▲ パネリストのお二人

2 / 1 防災士フォローアップ研修

防災士の有資格者を対象に、防災士としての自覚や役割を再認識するとともに継続して専門的な防災知識を高め、より一層地域での防災活動を推進するため、研修会を実施しました。参加した約100人の防災士は、いざという時のための心構えや、救出搬送、ロープワークなどを熱心に学んでいました。



2 / 15 花の香りに誘われて 梅まつり開催



毎年恒例の梅まつりを市の森で開催しました。会場の梅林園は、紅梅や白梅の甘酸っぱい香りが漂う中、多くの市民や観光客が来場。風流なお茶席でお茶を楽しんだり、地元新田自治会の皆さんがついたお餅を食べたりと思い思いに閑近に迫る春を満喫していました。